

通し番号	4651
------	------

分類番号	25-24-12-04
------	-------------

トマト‘湘南ポモロン’の促成作型では最低夜温8℃で栽培できます	
[要約] トマト‘湘南ポモロン・レッド’および‘湘南ポモロン・ゴールド’の促成作型において、最低夜温8℃と10℃の比較では、総収量および上果収量等に有意な差はなく最低夜温8℃でも栽培できる。	
神奈川県農業技術センター・生産技術部・野菜作物研究課	連絡先 0463-58-0333

[背景・ねらい]

生食および調理兼用イタリアンタイプのトマト‘湘南ポモロン・レッド’および‘同ゴールド’の促成作型では、これまでは授粉昆虫により授粉を行うことを前提とし、最低夜温10℃での栽培を勧めてきたが、ホルモン処理や振動授粉による授粉を行っている生産者も多い。そこで一般的なトマトの最低夜温8℃で栽培した場合の本品種の生育および収量特性を調査する。

[成果の内容・特徴]

- 1 ‘湘南ポモロン・レッド’の最低夜温8℃管理における生育特性を10℃管理と比較すると、節間長は有意に短い、茎径、平均花数、平均1果重、果実の尖り及び糖度に有意差はない(表1)。なお‘湘南ポモロン・レッド’は‘湘南ポモロン・ゴールド’よりも果実が尖りやすい特性があるが、8℃管理と10℃管理の差は見られない(表1)。
- 2 ‘湘南ポモロン・ゴールド’の最低夜温8℃管理における生育特性を10℃管理と比較すると、節間長、茎径、平均花数、平均1果重、果実の尖り及び糖度に有意な差はない(表1)。
- 3 ‘湘南ポモロン・レッド’および‘湘南ポモロン・ゴールド’の最低夜温8℃管理における収量特性を10℃管理と比較すると、総収量、上果収量及び上果率に有意な差はない(表2)。

[成果の活用面・留意点]

- 1 最低夜温8℃では、乱形果、空洞果、グリーンバック果およびすじ腐れ果が若干発生しやすいので、適正な施肥および土壌水分量の急激な変化が起きないようなかん水管理にこころがけるなど、肥効の変化を少なくするような管理を行う。

[具体的データ]

表1 促成作型における品種、最低夜温別生育特性

系統・品種	最低夜温	節間長 ¹⁾	茎径 ²⁾	平均 花数	平均 1果重 ³⁾	果実の 尖り ⁴⁾	糖度 ⁵⁾
		cm	mm		g	mm	Brix%
湘南ポモロン・レッド	10°C	6.0 a	14.6	7.8 b	64 b	2.6 a	5.9 a
	8°C	5.2 c	13.7	8.2 b	63 b	3.1 a	5.7 a
湘南ポモロン・ゴールド	10°C	5.7 ab	13.9	11.6 a	58 b	0.1 b	5.3 b
	8°C	5.8 ab	13.6	9.8 a	65 b	0.1 b	5.0 b
麗容	10°C	5.6 abc	14.9	6.2 c	143 a	-	5.8 a
	8°C	5.4 bc	14.8	6.2 c	149 a	-	5.7 a
分散分析	品種	ns	ns	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	最低夜温	<0.01	ns	ns	ns	ns	ns
	交互作用	<0.01	ns	ns	ns	ns	ns

定植時（平成24年12月13日）の草丈は、‘湘南ポモロン・レッド’及び‘湘南ポモロン・ゴールド’は66cm、‘麗容’は68cmだった。アルファベットはTukeyの多重検定。同列異符号間は5%レベルで有意差あり。

¹⁾第1～4段花房間の平均値、²⁾第5花房直下の平均値。³⁾上果平均果重。⁴⁾果実の尖りは3月下旬～6月上旬まで、定期的に収穫物を上限10個使用して測定した。⁵⁾糖度は、2週間～1ヶ月毎に5果使用し、4回調査した平均値。

表2 促成作型における品種、最低夜温別収量特性

系統・品種	最低夜温	総収量 ¹⁾		上果収量 ²⁾		上果率 %	下果種別構成比(総収量重量比(%))							
		kg/株	kg/m ²	kg/株	kg/m ²		乱形	空洞	BG	すじ果	尻腐れ	裂果	小果 ³⁾	その他
湘南ポモロン・レッド	10°C	4.28 b	9.4	3.19	7.0	74.6	3.1	0.0	5.8	1.3	0.6	0.0	12.0	2.7
	8°C	4.76 b	10.5	3.38	7.4	71.0	6.1	0.4	8.5	1.6	0.3	0.7	9.7	1.7
湘南ポモロン・ゴールド	10°C	6.29 a	13.8	4.67	10.3	74.2	8.9	2.7	1.3	1.3	0.3	0.2	9.9	1.1
	8°C	6.62 a	14.6	4.46	9.8	67.3	9.7	5.1	4.9	6.2	0.0	0.1	5.3	1.4
麗容	10°C	5.93 a	13.0	3.74	8.2	63.1	3.9	0.3	10.1	3.2	3.3	3.7	11.2	1.2
	8°C	5.86 a	12.9	3.98	8.7	67.9	2.5	0.0	7.2	1.1	4.2	3.8	12.2	1.1
分散分析	品種	<0.01		ns		ns								
	最低夜温	ns		ns		ns								
	交互作用	ns		ns		ns								

アルファベットはTukeyの多重検定。同列異符号間は5%レベルで有意差あり。

¹⁾収穫期間は、2013/3/14～6/21、12～13段果房まで収穫。²⁾A、B品の収量。³⁾‘湘南ポモロン’は40g未満、‘麗容’は100g未満。

[資料名] 平成25年度神奈川県農業技術センター試験研究成績書（野菜）

[研究課題名] トマト‘湘南ポモロン’の促成作型における特性検定

[研究期間] 平成24～25年度

[研究者担当名] 保谷明江、北浦健生